

NLAワイヤロープスリング



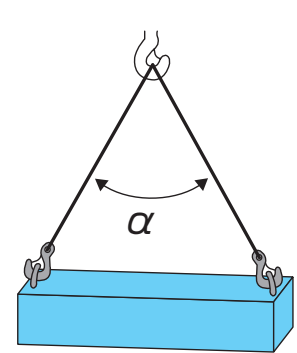
生産物賠償責任保険付

安全荷重表

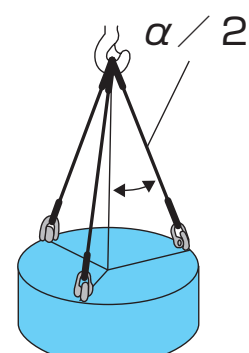
●法定安全基準の厳守●

JIS 6×24 A種

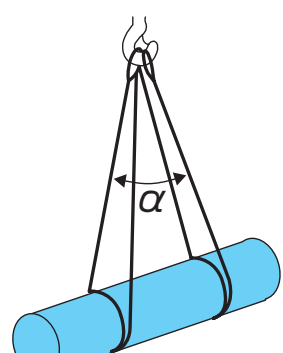
単位:トン



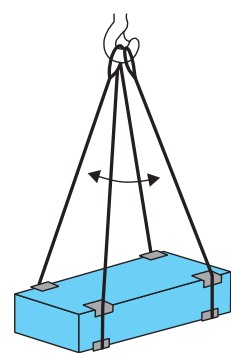
2本2点つり



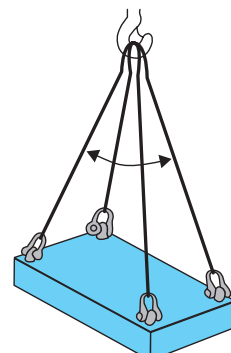
3本3点つり



2本4点あだ巻きつり



2本4点半掛けつり



4本4点つり

ロープ径 (公称) mm	2本2点つり			2本4点あだ巻きつり 3本3点つり 4本4点つり		2本4点半掛けつり	
	垂直つり	つり角 $\alpha \leq 30^\circ$	つり角 $\alpha \leq 60^\circ$	つり角 $\alpha \leq 30^\circ$	つり角 $\alpha \leq 60^\circ$	つり角 $\alpha \leq 30^\circ$	つり角 $\alpha \leq 60^\circ$
6	0.603	0.580	0.520	0.870	0.780	1.16	1.04
8	1.07	1.03	0.925	1.54	1.38	2.06	1.85
9	1.35	1.30	1.16	1.95	1.75	2.60	2.33
10	1.67	1.61	1.44	2.41	2.16	3.22	2.89
12	2.41	2.32	2.08	3.48	3.12	4.64	4.16
14	3.28	3.15	2.83	4.73	4.24	6.31	5.66
16	4.30	4.13	3.70	6.20	5.56	8.26	7.41
18	5.43	5.22	4.68	7.83	7.02	10.4	9.36
20	6.70	6.44	5.77	9.66	8.66	12.8	11.5
22	8.10	7.78	6.98	11.6	10.4	15.5	13.9
24	9.66	9.29	8.33	13.9	12.5	18.5	16.6
26	11.3	10.8	9.77	16.3	14.6	21.7	19.5
28	13.1	12.6	11.3	18.9	16.9	25.2	22.6
30	15.0	14.4	12.9	21.7	19.4	28.9	25.9
32	17.1	16.5	14.7	24.7	22.1	33.0	29.5
36	21.7	20.8	18.7	31.2	28.0	41.7	37.4
40	26.8	25.7	23.1	38.6	34.6	51.5	46.2

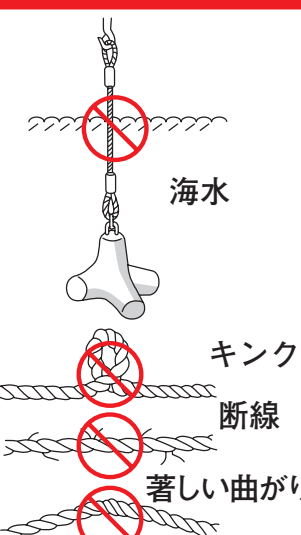
JIS IWRC 6×Fi(29)B種の安全荷重は、JIS 6×24 A種 安全荷重の約1.37倍
注) 4本4点つり及び 2本4点あだ巻きつりの場合は、荷重の均等が難しいため、
4点つり作業でも 3本つりとして安全荷重を計算する。

取扱上の注意

●絶対に行ってはけません
●必ず行ってください

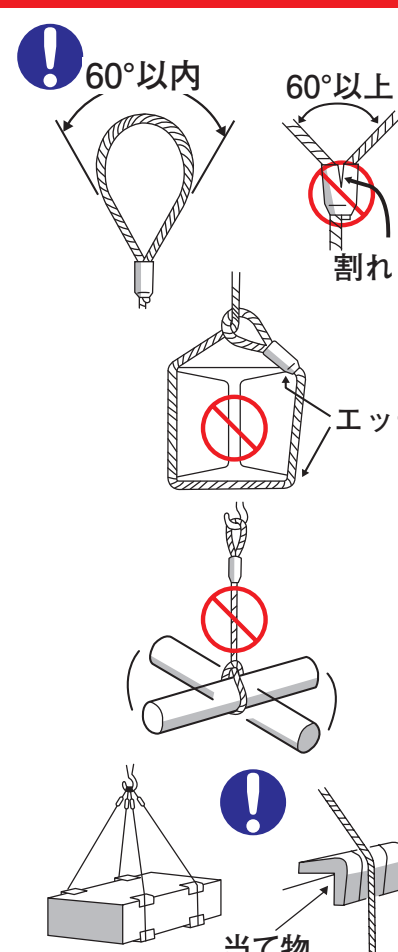
危険

- アルミ合金管の玉掛索は海水中では絶対に使用しないで下さい。アルミ管が溶解します。
- ロープのねじれや曲がりが発生したら、修正しキンクさせないようにして下さい。
- 廃棄基準を超えた玉掛索は使用しないで下さい。強度が著しく低下しているので危険です。
- 圧縮止め部のき裂、変形、ロープのずれ、著しいきずなどが発生しているものは、使用しないで下さい。圧縮部のすり抜け、ロープの破断等を生じ大変危険です。



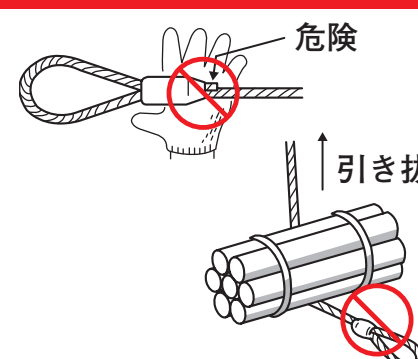
警告

- 酸やアルカリの腐食雰囲気や 100℃を超える高温雰囲気では、使用しないで下さい。腐食、熱影響等により、強度が低下し危険です。
- アイ部の角度は 60°以内で使用して下さい。それ以上の角度では圧縮部の効率が低下し、割れを起こす危険があります。
- 急激な衝撃荷重がかからないようにして下さい。
- 一本吊りでは使用しないで下さい。吊り荷が回転して危険です。
- 玉掛索の保守及び日常点検は法令で定められています。点検により異状が認められた時は、適切な処置を行って下さい。
- 玉掛索を鋭い角で曲げないよう、必要な場合は当て物をして下さい。
- 圧縮止め部をつり荷の角等に当てないようにして下さい。締結効率が低下し、抜ける恐れがあります。



注意

- 玉掛索のアイ圧縮部は、ロープの端部が出ています。直接手で触れないで下さい。怪我をし危険です。
- 玉掛索は電気溶接作業時等でスパークさせないで下さい。強度が低下し大変危険です。
- 玉掛索を荷から引き抜かないで下さい。吊り荷やロープ圧縮部を損傷し極めて危険です。



◇つり方法により表中の重量までつることができる。(JIS G 3525 6×24% A種安全率6) ◇玉掛索は等長のものを使うこと。

玉掛作業は、労働安全衛生法に定められた有資格者が行って下さい。

玉掛索の廃棄基準 (クレーン等安全基準)

- (1) ワイヤロープ1よりの間において素線(フィラー線を除く)の数の10%以上の素線が切断しているもの。
- (2) 直径の減少が公称径の7%をこえるもの。
- (3) キンクしたもの。
- (4) 著しい形くずれ又は腐食があるもの。

付属金具の廃棄基準 (JIS B 8817)

- (1) 変形 曲がり、ねじれ、ゆがみなどが認められるもの。
- (2) きず 著しい当たりきず、切り欠きなどが認められるもの。
- (3) き裂 き裂が認められるもの。
- (4) 摩耗 摩耗量が元の寸法の10%を超えるもの。
- (5) 腐食 全体に腐食が認められるもの、又は局部的に著しい腐食のあるもの。

株式会社 澄川工 作 所

〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地1丁目3-6 TEL (011) 377-8680 FAX (011) 377-8681

日本ワイヤロープロック加工協同組合加盟

●本文・図の無断複製は法律で禁じられています。

6月2日はロープの日